

■平成 18 年 台風 13 号による秋雨前線豪雨災害

集中豪雨で、川が氾濫している様子（1分38秒） ー映像解説ー

- 平成 18 年の 9 月 16 日、九州北部に停滞する秋雨前線が接近する台風 13 号の影響を受けて活発化。佐賀県では西北部地区を中心に、時間雨量 100 ミリ前後の局地的な集中豪雨に見舞われました。伊万里市では松浦川が氾濫し、水田や道路が冠水。一部の住民は避難が遅れて、トラックの荷台に避難することになりました。

【映像の流れ】

□見出し	□内 容	
<p>川からの氾濫水が、少しずつ道路側に広がっていく様子 (00:00~00:21)</p>		<p>・1時間雨量が100mm前後の大雨が降ったことで、松浦川の水が氾濫。氾濫した水が、徐々に道路側にもあふれている状況を見ることができます。</p>
<p>川からの氾濫水の水量がさらに増えて、あたり一面が川のような状況になっている様子 (00:22~00:47)</p>		<p>・川からあふれた水量がさらに増えてあたり一面が川のようになり、どこが道路かわからなくなっている状況を見ることができます。</p>
<p>逃げ遅れた住民が、トラックの荷台に避難している様子 (00:48~1:38)</p>		<p>・逃げ遅れた人たちが、仕方なくトラックの荷台に避難している状況を見ることができます。</p>

□撮影日時 平成 18 年 9 月 16 日

□撮影場所 佐賀県伊万里市高瀬地区一帯（松浦川流域）

□映像編集 伊万里ケーブルテレビジョン(株)